



議会だより

第61号 令和2年5月1日発行

みやこ



# 犀川小学校 開校式

4月6日

新型コロナウイルス感染防止のため、犀川  
小学校の開校式は校庭で行われました

3月定例会の結果報告	2~7P
7名の議員が町政を問う	8~14P
議会の活動報告	15P

# 令和2年度 一般会計予算 121億4800万円

令和2年度当初予算は、議員全員で構成する予算決算常任委員会において、3月9日から11日の3日間、集中的に審議し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

令和2年度一般会計予算は、121億4800万円で、昨年度と比較して5100万円の増額となっています。

主な事業の内容を要約し報告します。

## 令和2年度 各会計当初予算額

(単位：千円)

会 計 别		予 算 額
一 般 会 計		12,148,000
特 別 会 計		7,036,048
国民健康保険事業		2,507,348
後期高齢者医療		379,915
介護保険事業		2,919,017
住宅新築資金等事業		3,965
土地取得		290
水道事業	収益的収支	549,749
	資本的収支	323,254
下水道事業	収益的収支	311,972
	資本的収支	36,570
犀川財産区管理会		669
城井財産区管理会		3,299

## 令和2年度 一般会計当初予算性質別

(単位：千円)

性 質 別	予 算 額
人件費	2,002,247
扶助費	1,779,261
公債費	1,040,792
普通建設事業費	1,815,515
災害復旧事業費	49,625
物件費	1,878,618
補助費等	1,380,262
繰出金	1,704,058
その他	497,622
合 計	12,148,000

国道201号線の早期整備を目指して、議会に特別対策委員会が設置されました。

### 設置目的

国道201号の建設促進及び建設後の周辺地域の活性化に関する調査及び研究

## 国道201号対策特別委員会

委員長	上田 重光
副委員長	原田 和美
委員	内田 直志
委員	柿野 正喜
委員	中山 茂樹
委員	小田 勝彦

令和元年12月23日設置

3月定例会は、新型コロナウィルス対策により、会期を短縮

### 避難行動要支援者 管理システム導入事業

(担当課: 保険福祉課)

平成25年6月に施行された改正災害対策基本法に準拠するために、災害時に支援を必要とする人を把握し、避難行動の支援につなげるシステムを構築します。

**予算額：400万円**

### 運転免許証返納者支援事業

(担当課: 保険福祉課)

運転免許証を自主返納した高齢者に、交通手段の支援のためタクシー共通回数券を助成します。  
\*一人一回限り

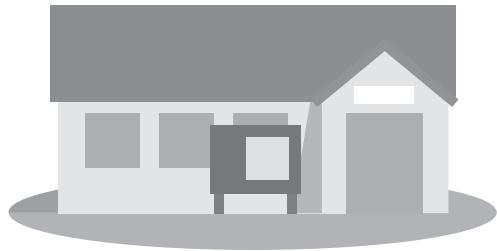
**予算額：185万7千円**

### 防衛施設周辺まちづくり 構想策定事業

(担当課: 行政経営課)

支所機能を有しつつ、文化交流及び地域防災活動の拠点となる公民館を整備するための計画を策定します。

**予算額  
2,047万円3千円**



### 学校給食地場産農産物等 利用促進事業

(担当課: 農林業振興課)

小中学校の給食における安全安心な食材の提供と地産地消を促進するため、地場産農産物等の購入経費の一部を補助します。

**予算額：500万円**



地産地消の甘キャベツ

### 放課後児童クラブ室 整備費補助金事業

(担当課: 子育て・健康支援課)

共働き世帯の増加に伴い多様化するニーズに対応するため、城井保育園児童クラブを新たに整備する。

**予算額：1,026万円**



令和2年第1回定例会を3月2日から3月13日までの12日間にわたり開催しましたので、その議決結果について報告します。

## 令和2年第1回定例会議案議決結果及び議員別賛否一覧表

議案名	議員名												議決結果	
	内田直志	肥喜里雄二	柿野正喜	中山茂樹	小田勝彦	中尾昌廣	浦山公明	大東英壽	柿野義直	上田重光	原田和美	熊谷みえ子	飯本秀夫	
みやこ町犀川・城井財産区管理会委員の選任について(柏木主税氏、木森勝則氏、濱口敏幸氏、白川孝志氏、荒木友久氏を選任、村上秀夫氏、松岡壽直氏、江藤隆志氏、中村豊春氏、後藤俊昭氏、梅田正芳氏を選任)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
みやこ町犀川財産区管理会委員の選任について (中尾昌廣氏を選任)	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	同意
みやこ町犀川財産区管理会委員の選任について (中山茂樹氏を選任)	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
みやこ町城井財産区管理会委員の選任について (大東英壽氏を選任)	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	同意
権利の放棄について（3件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町防衛施設周辺まちづくり構想検討委員会設置条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町総合計画審議会設置条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町地域公共交通会議設置条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町まち・ひと・しごと創生会議設置条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町要保護児童対策地域協議会設置条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町障害福祉施策検討委員会設置条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町公立保育所民営化等検討委員会設置条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	可決
みやこ町公立保育所民営化選考委員会設置条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	可決
みやこ町保健・福祉・コミュニティセンター運営委員会設置条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町高齢者サービス調整委員会設置条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町地域包括支援センター運営協議会設置条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町地域福祉計画審議会設置条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町教育委員会外部評価委員会設置条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町教育支援委員会設置条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町学校給食センター運営委員会設置条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町文化財保護委員会設置条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町子ども読書活動推進計画審議会設置条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町表彰条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議長は、採決に加わらない。○は賛成、●は反対、除は除斥（地方自治法第117条の規定）。

議案名	議員名												議決結果	
	内田直志	肥喜里雄二	柿野正喜	中山茂樹	小田勝彦	中尾昌廣	浦山公明	大東英壽	柿野義直	上田重光	原田和美	熊谷みえ子	飯本秀夫	
みやこ町防災行政無線施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町農業振興審議会条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町農業委員会委員に関する選考委員会設置及び運営条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町学習等供用施設条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町体育施設の設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	可決
みやこ町B & G海洋センター条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町駐在員等の設置条例を廃止する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町交通安全指導員設置条例を廃止する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町総合観光案内所の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町道路線の認定について・路線の変更について (三角・出口線、宮前線、ビシャ門・石原線)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和元年度みやこ町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	可決
令和元年度みやこ町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	可決
令和元年度みやこ町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	可決
令和2年度みやこ町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	可決
令和2年度みやこ町国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	可決
令和2年度みやこ町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	可決
令和2年度みやこ町介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	可決
令和2年度みやこ町住宅新築資金等事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
令和2年度みやこ町土地取得特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和2年度みやこ町犀川・城井財産区管理会特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和2年度みやこ町水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
令和2年度みやこ町下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
工事請負契約の締結について(犀川小学校校舎解体工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
築城基地の「拡張反対」の意思を表明することを求める請願														継続審査

議長は、採決に加わらない。○は賛成、●は反対、△は除斥（地方自治法第117条の規定）。

# 委員会審査報告

3月定例会で、総務産業・文教厚生常任委員会に付託された主な議案の審査概要を報告します。

## 総務産業常任委員会(3月5日)

### 権利の放棄について

(住宅新築資金等貸付金に係る債権)  
議案3件・総額576万6,776円。債権者本人と連帯保証人は破産免責許可決定が確定されたものまたは、債権者死亡により回収の見込みがない債権とし、当該権利を放棄するもの。

みやこ町駐在員等の設置条例を廃止する条例の制定について

地方公務員法が改正され、これまで町の非常勤特別職として位置づけていた駐在員の業務内容や活動が、町の附属機関の業務にはあたらないこととなつたため、これを廃止する。なお、その業務を区長にお願いする。



## 文教厚生常任委員会(3月6日)

みやこ町地域包括支援センター運営協議会設置条例の制定について

Q みやこ町地域包括支援センターの職員は役場の職員が入るのか。

A 現在は役場の職員が入っているが、4月1日以降は委託する法人の職員が入ることになる。



委託先の地域包括支援センター

みやこ町教育委員会外部評価委員会設置条例の制定について

地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき、みやこ町教育委員会外

部評価委員会をみやこ町の附属機関とする必要がある。

教育委員会が行っているすべての事務の執行状況などについて、点検及び

評価をするために外部評価をおくもの。

町民の視点に立った効果的な教育行政や町の教育施策に掲げている基本目標を実現するため。

みやこ町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

みやこ町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、会計年度任用職員制度が導入。非常勤職員のうちフルタイムの会計年度任用職員について、これまでの賃金ではなく常勤職員同様に給料が支給される。

工事請負契約の締結について

犀川小学校校舎解体工事一式  
工事金額 7,700万円

## 議案に対する討論

### 議案第44号令和2年度 みやこ町一般会計予算

反対 熊谷みえ子議員

地方自治体の役割は住民の暮らし、福祉を守る予算なのかどうかです。

今年度予算では予算編成方針にありますように団体補助金、助成金の減額を取り組むこととされています。必要性妥当性を充分精査して予算計上をすることとされています。予算執行上の努力も含め精査することを求めるものです。

歳出では今年度は70歳以上の方が自主的に返納した場合タクシー回数券を支給する「高齢者運転免許証自主返納支援事業」を行なうこと、外出支援のためにも広げていただければと思います。

公共施設の統廃合をすすめ、特に学校については犀川地区に続き、豊津地域となっていますが、財政的検討を行う際には、地方交付税算定において、公立学校の経常的経費は生徒数、学級数、学校数が測定単位になつており、それにもづいて財源

保障される仕組みになつていていることを踏まえる必要があります。

今後施設の解体費に基金を費やすことにならないか。

財政負担の縮減や平準化を図るなど見なおしを求めます。

国の悪政の防波堤として住民福祉に取り組んでいただきたい。

消費税10%増税で暮らしさますます苦しくなってきた折もあり、コロナウイルス感染症対策で、深刻な打撃を受けている住民の暮らしをまもるのが自治体の役割です。

当初予算は当然必要な予算の確保などされている予算であり、全てに反対するものではありません。何点かについて問題点を指摘し、反対討論といたします。

## 議案第33号みやこ町体育施設の設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について

反対 柿野正喜議員

この条例案は勝山地域にある唯一の勝山総合運動公園を3月末で廃止しようと/orするもの。勝山地域は犀川・豊津地域に比較し屋外屋内の運動施設は共に脆弱で格差が生じている。合併により運動過疎地になつてている状況にある。

勝山総合運動公園廃止後の具体的活用計画の具現化も不確定であり、廃止ありきとなっている。廃止理由は利用率が低いと言うが、今日までの利用に向けた利用誘導対策が欠けていたのではないか。健全財政の維持に鑑み、新たな建設は望まないが、今後ますます少子高齢化社会となることを考慮し、現施設を整備充実させ青少年の体力向上、健康寿命の延伸対策等の活用に、存続すべきである。よつてこの条例案に反対する。

## 活動報告

1月から3月までの議会及び議長の活動を報告します。

月 日	件 名
1月 7日(火)	京築広域圏消防本部点検式
1月 8日(水)	京築広域市町村圏事務組合消防委員会
1月 9日(木)	築城基地賀詞交換会、国道201号対策特別委員会
1月10日(金)	みやこ町新年あいさつ会、新春荊冠旗開き
1月11日(土)	みやこ町消防出初式
1月12日(日)	みやこ町成人式
1月14日(火)	京築広域市町村圏事務組合消防委員会
1月15日(水)	町村議会議員研修会
1月22日(水)	国道201号対策特別委員会
1月23日(木)	京築広域市町村圏メイカルセンター委員会
1月25日(土)	上高屋小学校学習発表会
1月27日(月)	平成筑豊鉄道推進協議会通常総会、 京築広域市町村圏事務組合議会定例会
1月29日(水)	全国市議会議長会基地協議会総会
2月 5日(水)	京都郡議長会視察研修
2月10日(月)	農地利用最適化推進委員活動報告会
2月11日(火)	議員行政等調査視察研修
2月12日(水)	議員行政等調査視察研修
2月13日(木)	議員行政等調査視察研修
2月14日(金)	豊前地区三郡町村議会議長会会議
2月17日(月)	行橋市・みやこ町清掃施設組合議会定例会
2月20日(木)	福岡県町村議会議長会定期総会
2月25日(火)	京築地区水道企業団定例会
3月 3日(火)	犀川小学校新校舎内覧会
3月 6日(金)	みやこ町社会福祉協議会理事会

**Q**

# 魅力ある学校づくりを

**A**

## 他町からの児童、生徒も増えた



**飯 本 秀 員  
議**

増加を目標すべきだが、取り組みを問う。

**A**（教育長）英語教育は、他に先駆け3・4年生には、年間35時間、5・6年生には年間70時間の授業を外国語指導助手や、語学教育専門の会社より派遣を願い、児童に直接指導を行っている。

最近では区域外就学も増加している。

**Q** 教育に力を入れ、人口増加を目指すべきだが、取り組みを問う。

**A**（教育長）英語教育は、他に先駆け3・4年生には、年間35時間、5・6年生には年間70時間の授業を外国语指導助手や、語学教育専門の会社より派遣を願い、児童に直接指導を行っている。

**Q** イベントについて

**A**（教育長）学習課程のなかでは無理なので、他のイベントと併せて実施出来ないか検討する。

**Q** 地産地消の比率も上がっているが、メニューに、みやこ町の日を作れないか。

**A**（教育長）指摘のように、町内の里芋等を材料とした芋鍋の提供も考えている。

**Q** スクールバスについて

**A**（教育長）現在行つてるので、他地区においても実施する。

**Q** スクールバス利用については保安上の観点からも、児童のみならず、中学生も対象にすべきでは。

スクールバスについて

**Q** 河川並びに周辺整備

**A**（教育長）順次、浚渫工事は行っているが、今後とも強く要望して行く。

**Q** 今川沿いは、ガードレールが乏しくたびたび転落事故が発生するが。

**A**（教育長）設置規定に照らし、要望する。

**Q** 地域イベントも、それぞれ活発に行われているが、テントのリース料などで、経費の負担が重く、継続困難との声も聞くが、恒久的支援策はないか。

**A**（教育長）町が直接、設備等の所有は困難だが、支援の方法等について前向きな検討を行う。

地域イベントも、それ

**Q** 農業問題について

**A**（教育長）ある程度の助成金は、振り分け自由なので、更に検討する。

**Q** 國策として推進してきた従来からの作付け体系は、地力等で無理が生じており、恒久的持続可能な農業を目指すならば、助成金の方について、工夫が必要。



今川沿いのガードレールのない箇所



原田和美  
議員



豊津インター付近



上空からみた豊津インター周辺

**A** 公平性、平等性という気持ちで今後も取り組んでいきたい。

**Q** 一部の補助金団体の事務所は公共施設を利用してい。旧3町平等性を大切にして、町民が納得できる町政をしていただきたい。

**A** 豊津インターを本町の玄関にと位置づけしている。国に緩和する様に強く要望して行く。

**Q** 豊津インターの周辺は農業振興地域に入っている。農業振興除外の考えはあるのか。

豊津インター

**A**

国に強く要望する

**Q**

豊津インター周辺は農振除外を

補助金団体に関連して

**Q** 補助金団体等の役員に区長等が兼任しているが、問題ないのか。

**A** 募集をしても応募がないという問題もある。今後はできるだけ重複しないよう可能な範囲で検討する。

**Q** 政治倫理審査会委員に補助金団体の役員が兼任しているがよいのか。

**A** 公募をしてもなかなか集まらないのが現状。いろんな形をしても、本当に手を挙げてくれる方が少ない。

特に政倫のところに関しては精査をしながらやって行く。

一般質問の時間が  
新型コロナウィルス感染防止のため、  
通常の60分から30分に短縮されました。

**Q**

## 優秀な町職員確保の工夫は

**A**

今年度は人物重視で採用した



**喜  
柿野正員  
議**

**A**

筆記試験は公平性が保たれるが面接試験は試験官の主觀が反映されやすく、試験官がやつてはいけないことが発生しないか危惧される。

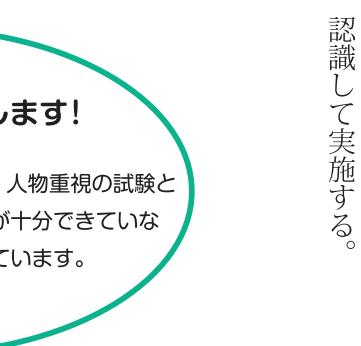
国によると2025年には高齢者5人に1人が発症すると推計しているが、当町の認知症患者数と予防

Q 筆記試験は公平性が保たれるが面接試験は試験官の主觀が反映されやすく、試験官がやつてはいけないことが発生しないか危惧される。

**A**

公務員試験での専門試験の特殊性が受験者の敬遠する一因となっている為、今年度は全国の自治体の事例を参考に専門試験を廃止して、人物重視にするため從来の二次試験の面接を一次試験とした。

Q 町民福祉の先導者となる優秀な町職員確保をどう工夫しているか。

**A**

認知症予防対策

Q 医学的にも早期発見、早期対処すれば発症を抑えること、遅らせることが、実証されているようであるが、町民健康診断時に認知症診断を追加できないか。

Q 町の健康診断時の認知症チェックについては、有効であると考えるので関係課とも協議したい。



認識して実施する。

**A** 正式な患者統計がなく正確な人数はつかめていないが、全国の65歳以上の高齢者に占める認知症有病率の推計割合を、みやこ町に換算すると1,100人程度と推計する。予防対策では認知症予防教室や高齢者訪問、サロンなどの機会に看護師、保健師による指導・啓発を行っている。又各地区でのオレンジカフェなどの通いの場づくりの推進に努めている。

中山 茂樹  
議員

**Q** 最近、若い親による子供への体罰、虐待という痛ましい事件がテレビで報道されている。そのような事件の背景を考えたとき、子供への愛情、親としての責任感が欠けていると思う。

問題解決の一つとして道德教育の導入を考えるべきと思う。町の教育委員会として対策を考えているか。

## A Q 道徳教育について問う

**A** 本町では道徳科として年間35時間の授業を行っている

**A** (教育長) 昨今の児童虐待事案では、児童が命の危機にさらされるとともに、児童の人権を著しく侵害し、心身の健康やその後の人格の形成に大きな影響を与える深刻な社会問題となつている。このようなことから、平成27年度まで教科外活動として位置づけられていた道徳を教科として位置づけ、

**A** 私は2年ほど前に、東京の有楽町にある「ふるさと回帰支援センター」を訪問し説明を受けた。主に東京圏に住んでいる地方暮らいやUターン等、地域との交流に興味がある皆さんに、相談や情報提供等を行っており。このNPO法人が都市と農村の橋渡しを行い、地方再生や地域の活性化を支援している。参加するには会費を含め予算等の調整

学習指導要領が改訂されたことで、本町でも道徳科として年間35時間の授業を行っている。

### 人口減少対策

**Q** 移住やリターン、一ターン等を希望する人を支援する組織「ふるさと回帰支援センター」なるものが東京にあるが、みやこ町としても、人口減少対策の一つとして、そこに参加しセンターを有効活用すべきと思うがいかがか。

**A** 新しい公民館の施設概要については、支所機能を有しつつ、文化交流及び地域防災活動の拠点となる公民館を整備したい。町のにぎわいや活力を創出し住民の交流の場として活用できる複合的要素を持つた施設として整備したい。令和2年度から防衛施設周辺町づくり構想の中でも検討したい。

### 豊津公民館解体

**Q** 豊津公民館の建替計画をしているが、単なる建て替えだけでなく、今風のしゃれたカフェ店舗や若い人たちが商売したい、起業をしたいという、一区画を公民館の中にできなかいか。

が必要になるが、本町への移住者の増加及び情報発信のために、加入に向け検討したい。



豊津公民館

Q

## 教員の長時間勤務の実態をどうつかむのか、実態を公表してもらいたい

A

## 教員がパソコンに出退時刻を記録するシステムを導入する

**Q 教員の多忙化は教員自身の責任と考えているのか。**

**A (教育長) そういう具合にとらえていない。とても多忙化していることは間違いない事実であり、いろんな問題等があるという具合にとらえている。**

**Q 教員は学校以外でも明日の授業準備など自宅に持ち帰り仕事をしている。仕事の量が多いからである。仕事量を減らす必要があるのではないか。**

**A (教育長) 私も同様な考え方であり、教職員の仕事量を減らしていくべきだと考えている。**



柿野義員

**Q どういうふうに仕事量を減らしていくと考えているか。**

**A (教育長) 先生方の仕事の内容を、学校の教員しかできない仕事、教育委員会なり他の部署とかに任せていい仕事、地域にまかせていい仕事とかに分析し、な**

**るべく仕事の内容、業務を減らしていきたい。例えば給食費の集金、滞納等の催促は今まで教員がしていたが今後はなくなる。**

**Q 登校時は親元からバスに乗るが、親の仕事の都合上、帰りはおばあちゃんの家にというような要望があるようになっていて、どう対応するのか。**

**A (教育長) 停留場所は自宅に近い安全に停留できる場所を予定している。バスが通常通る道以外に離れたおじいちゃん、おばあちゃんの家とかを要望されても安全上応えることができない。生徒の皆さんはそれぞれの停留場所に帰る時間帯があつてそれを守らなければならぬということもあら。学童クラブへの要望は**

**Q スクールバスは何台あるか。**

**A (教育長) 現在5台、今年度中購入予定が2台ですので、7台になる。**

**Q 使用されていない時間帯はないか。**

**A (教育長) 日中の活動には小学校間の交流、社会見学、部活の移動に使っていいる。**

**Q 国の補助金で購入してい**

るため利用目的以外の利用は難しい。

**Q 生徒が休むなどの連絡はどのようにしているか。**

**A (教育長) 運転手とは別にすべてのバスに1人ずつ添乗員が乗っている。添乗員が連絡を受け運転手に連絡している。**

**Q 町採用の教職員の待遇はどのようになるか。**

**A (教育長) 町雇用非常勤講師は週15・5時間以上勤務の場合、期末手当支給が始まるなど令和2年度の給与はこれまでより増えたと見込んでいる。**



スクールバス

**Q 町採用の教職員の待遇はどのようになるか。**

**A (教育長) 町雇用非常勤講師は週15・5時間以上勤務の場合、期末手当支給が始まるなど令和2年度の給与はこれまでより増えたと見込んでいる。**



熊谷 みえ子  
議 員

Q 豊津地域小学校の学校整備について、開校日の延期が報告をされている。  
祓郷、豊津小は同規模校であり、学校をなくすことの影響など地域に果たす役割など再度検討をする事。あらためて祓郷小学校の存続をもとめる。

住民への説明会など計画はあるか。

## A Q 祓郷小学校の存続を求める

### 豊津地区の小学校として開校する

犀川地区学校跡地の活用について

教育環境の整備、教員定数の増を求ること

A 必要性は認識しているが、財政負担の軽減からも継続・運営していくことは厳しい。

Q 学校閉校後も避難所として確保をし、地域住民の安全で安心な防災機能をもつ施設として整備を求める。地元での活用計画を町として検討するべき。

A (教育長) 豊津地区は令和4年度を予定していたが、統合小学校の開校は令和6年になる予定。

教育委員会では、統合小学校の開校までのスケジュール等を保護者や地域のみなさまに令和2年度早期に説明したいと考えている。

A 現学校施設を避難所として利用するには、立地条件や施設の老朽化など状況含め検討する必要がある。グループ懇談会など地元と協議を重ね、地域の活性化につながるように検討したい。

Q 図書館は3館の維持存続を  
A 財政的な面のみではなく、「町民の読書環境充実の観点から検討を要する。」と外部評価委員会の評価であ

Q 教職員数が増えると、教師一人が受け持つ児童生徒数が減り、児童生徒の一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かい指導が行いややすくなる。

県教委予算ではスクールカウンセラーを不登校など抱える学校に単独配置をするとしている。

少人数指導やいじめ・不登校対応などに対応するために都道府県の申請に応じて配当される「加配定数」の増員など、教職員定数の改善を県に求めること。

A (教育長) 十分とは言えないがよい人材が町雇用で確保できている状況である。



活用計画が待たれる柳瀬小学校

**Q**

## 改めて、まちづくりの ビジョンは？

**A**

誰もが誇りを持ち、この町に住んで  
よかつたと思えるような  
「日本一元気なまち」づくりを



**内田直員**



第2期みやこ町 まち・ひと・しごと創生総合戦略

**Q** 今年は『第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略』が完成し、また、まちづくりの総合計画である『第3次みやこ町総合計画』も作成に着手される。旧三町合併して公共施設の統廃合など、やらなければ

**A** 子どもたちには英語とITができるよう、田舎に住んでも都会の人には負けないような地域をつくろうと言ってきた。そのため英語スピーチ大会を実施したり、光ファイバーを通してきた。

ならない事業がある一方で、次世代がこの町に残つて人生を送りたい、一旦町を出たとしても魅力のある町だからいつかは絶対戻ってきて、と思ってもらえる絵を描き、ふるさとを残していく。それが私たち大人の責務と考えるがいかに。

**Q** 地域の特色を生かす目標を勝山地区は古代官道から国道201号と、街道筋として発展してきた、犀川地区は農林業が盛んだった、豊津地区は一部ではあるが上下水道を含め住宅環境が整っている。第3次総合計画には旧三町に共通の目標だけでなく、旧三町ごとの

一方で、負債を抱えて次の世代に残すのはいかがなものか。ここは我々が責任をもつて次の世代にバトンタッチしていく思いで町政運営をしている。

そういうまちづくりをしたことで大変難しい問題もあるが、その中で、やはり子どもたちが楽しく学問できるような地域が大事だと。そして、自然など豊かなものを感じ学びながら大人になって、外に出てみて初めて自分の地域のよさがわかる。そういうまちづくりをしたい。

**Q** 旧犀川庁舎跡地利用の現状は。  
**A** 昨年9月に利活用案について公募したが集まらなかつた。今後周辺状況や条件を踏まえて、企業誘致や宅地での販売など慎重に検討し、町広報紙やホームページなどで住民に情報提供する。

**Q** 空き家対策について  
**A** 平成30年度、住宅土地統計調査では推計値として空き家数は1400件以上と大きく増加。本年度から農業委員会と連携し、空き家バンクに登録した家屋とあわせて小規模農地を売却できるようになった。

**Q** 空き家対策の現状は。  
**A** 中身については担当と相談しながら策定をしていただきたい。

# 議会の活動を報告します!



左より 熊谷みえ子議員、上田重光議員、柿野義直議員

熊谷みえ子議員が町議会議員として27年以上在職し、功績があつた者として、全国町村議會議長会から表彰を受けました。

また上田重光議員と柿野義直議員が町議会議員として23年以上在職し、功労があつた者として福岡県町議会議長会より表彰を受けました。

**全国町村議會議長会及び  
福岡県町村議會議長会  
より表彰**



去る1月15日、福岡市で行われました「町村議會議員研修会」の報告をいたします。時事通信社村田純一福岡支社長による『政治とメディア現在・過去・未来』と、東海大学海洋学部山田吉彦教授による『海に守られた日本から海を守る日本へ』という二本立ての講演でした。

村田氏の講演ですが、昨今はインターネットの普及により新聞販売部数が減つてきており、ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)によって一般の人々から瞬く間に世界へ情報が発信できるようになつたが、その中身の真偽の確認が必要であること、「社会の木鐸(ぼくたく)」としてのメディアの使命、そして現政権の分析など話題は多岐にわたりました。氾濫する情報世界は否が応でも向うからやつ

てきます。であるならば今後どのように向きあつていくべきか、まずは家族と静かな環境で考えてみたいと思いました。

次に、山田氏の講演ですが、冒頭に中国大陸が下に、日本列島が上になつた地図を示されました。つまり、中国の海洋進出にとって弧状の日本列島が蓋となつていているという説明でした。普段生活をしていると意識することは少ないのですが日本は海に囲まれた海洋国家であり、海洋貿易なくして我が国経済は成り立つものではありません。また、冒頭の説明通り中国などは日本列島の海峡を通らなければ太平洋に進出することはできないことなどを考えると、海洋の平和を守ることは日本の経済にとっても安全保障にとっても大変重要なことであると改めて考えさせられました。本町含む福岡県の歴史は海とともに刻まれてきました。これからも平和で豊かな海をどのように創造していくのか、小さなところから取り組んでみた

いと思いました。

次回、6月定例会の招集日は、6月4日の予定です。詳細については、決定次第、ホームページや防災無線等でお知らせします。

なお3月定例会の傍聴者は新型コロナウィルス感染防止のため、傍聴はお断りします。

**町村議會議員研修会  
パビヨン24ガスホール 令和2年1月15日**

**議会傍聴の「」案内**

住所・氏名を記入するだけで、どなたでも傍聴することができます。議員の生の声や表情を議場で見学してみませんか。

※本会議は、本庁及び各支所ロビーに設置しているテレビで中継しています。またホームページでも映像配信を行っています。お気軽にご覧ください。



# がんばつちよる

～木工を愛し、健康寿命を延ばす～  
みやこ町木工クラブ



「里」施設群の東端にある木工館を活動拠点に日々、木工作業に励んでいます。みやこ町木工クラブは町内在住の現役引退者を中心に、現在18名で構成、木工製品づくりを一番の楽しみとし、仲間同士の絆を大事にする木工趣味集団です。

町の支援を頂きながら、創部以来二十数年の活動実績は後輩の誇りと励みになつてあります。

主なイベントは、町主催の産業祭に部員総勢でまな板を作成し、出店・販売する活動です。ご協力頂いた貴重な収益金はクラブの運営費に充てます。また、このイベントには会員の作品も同時に出品します。祭りを盛り上げ部員の技術向上と製作意欲の向上に役立つてあります。

仲間同士の絆を大事にする木工趣味集団です。町の支援を頂きながら、創部以来二十数年の活動実績は後輩の誇りと励みになつてあります。

木工製品づくりを一番の楽しみとし、仲間同士の絆を大事にする木工趣味集団です。町の支援を頂きながら、創部以来二十数年の活動実績は後輩の誇りと励みになつてあります。

主なイベントは、町主催の産業祭に部員総勢でまな板を作成し、出店・販売する活動です。ご協力頂いた貴重な収益金はクラブの運営費に充てます。また、このイベントには会員の作品も同時に出品します。祭りを盛り上げ部員の技術向上と製作意欲の向上に役立つてあります。

当木工クラブはみやこ町の「じこじー郎」ティア活動を紹介します。主催者側の協力要請に基づいて実施した。大人向けの木工教室を支援しました。受講者に適した作品探しや、材料の準備、製作指導の支援活動です。限られた製作時間でしたが、受講者の作品完成時の笑顔がとても印象的でした。受講体験者一名がクラブに入会し、若手のホープとして現在活躍しております。

部外活動の一例として一昨年前のボランティア活動を紹介します。主催者側の協力要請に基づいて実施した。大人向けの木工教室を支援しました。受講者に適した作品探しや、材料の準備、製作指導の支援活動です。各地に「緊急事態宣言」が出され、私たちの周りにも確実に近づいています。残念なことに、食料品や生活用品の買占めも起きました。新型コロナウイルスの感染に歯止めがかかりません。

クラブの平均年齢は七十三歳と高齢化しております。日本人男性の平均健康寿命を一年上回り、至つて元気です。今後も頑張りすぎず、健康に留意し、木工を少しでも長く楽しみたいと部員一同思つております。

木工に興味をお持ちのかたは、木工館にお気軽に立ち寄つてみてください。いつも生活、いつもの日常生活が、一日でも早くおとずれることを願うばかりです。

木工の平均年齢は七十三歳と高齢化しております。日本人男性の平均健康寿命を一年上回り、至つて元気です。今後も頑張りすぎず、健康に留意し、木工を少しでも長く楽しみたいと部員一同思つております。

木工に興味をお持ちのかたは、木工館にお気軽に立ち寄つてみてください。いつも生活、いつもの日常生活が、一日でも早くおとずれることを願うばかりです。

**連絡先**

みやこ町木工クラブ  
会長 中村 芳臣  
TEL 0930-33-2223

## 議会広報特別委員会

委員長	熊谷 みえ子
副委員長	中原 茂樹
委員	田中 和美
委員	野田 正喜
委員	柿沼 雄二
委員	肥臺 喜馬
委員	中田 直勝
委員	内田 雄志
委員	勝原 仁
委員	田中 雄志
委員	馬場 美樹

発行責任者	クック
田中	肥臺
内田	中田
勝原	正喜
馬場	雄志

## 編集後記

